

# ますはら

## 「執り成してくださる」

「霊もまた同じように、弱い私たちを助けてくださいます。私たちはどう祈るべきかを知りませんが、霊自らが、言葉に表せない呻きをもって執り成してくださるからです。」

(ローマの信徒への手紙 第8章26節・新約聖書279頁)

はじめに

何度も神に背き、裏切るような私たちでも、神はその深い憐れみによって、悔い改めるならば祝福し、実を結ばせてくださいます。だからこそ、パウロが言うように、自分を「義のための道具」として献げていくのです。神は自分の欠点だと思っているようなところでも神の戦いの武器として用いてくださるのです。それだけではなく、神はその戦いのさなかでも絶えずサポートをしてくださいます。

霊の働き

私たちの日常を支え、助けてくださるのは聖霊です。この箇所にある「霊」は、幽霊のような実態のないものではなく、目には見えなくとも主イエスそのものを指します。肉体があると、その働きはその時代、その場所に特定されてしまいます。主は、インマヌエルの約束どおり、見えない姿ではありますが、弟子たちと歩んだように、私たちと共におられます。ですから、私たちは主イエスによって奇跡的な出来事を味わい、また聖書を通してであります。主イエスの言葉を聞いて、力をいただいているのです。ペンテコステの日、降られたのは、主イエスの霊であり、その一人一人に、そして全世界に、また時代を超えて注がれ、働いてくださっています。当然、私たち自身にも、それは起こっているのだということを忘れてはなりません。

弱い私たち

「道具」として用いられると言われても、時として弱気になるのが私たちです。力を失うと、

それこそ、祈ることもできなくなります。詩編32編などをみると、「私が言葉もでない苦しみの時には一日中呻き、骨も朽ち果てました」。気力も衰え果てました」とあります。それでは役に立ちません。その時、主は私たちを執り成してくださるのです。

執り成し

聖霊は主イエスですが、なぜ弱り果てることがないお方なのに、私たちやまた詩編の作者のように言葉に表せない呻き祈ることになるのでしょうか。32編の続きの祈りにこうなったのは、「私の背きの罪」があったからだと告白しています。自分が神と向き合っていないことで、踏ん張らなければならない大事なところで勝利できず、「呻き苦しむ」ことになる。だから、私たちはいつも敗北感に満ちているのです。

主は言われました。あなたがたは世の戦いが続くのだけれど、「勇気を出しなさい。私はすでに世に勝っている」(ヨハネ16:33)。なぜですか。それはあのゲッセマネの祈りがあったからです。主は私たちの罪を負ってくださった。だからそこで言葉に表せない呻きをもって執り成されたのです。弟子たちのように眠ってしまうのではなく、そのような時こそ、この執り成しの祈りの言葉を聞くべきです。そして、神に愛されている者が「ご計画に従って万事を益としてくださる」との勝利の信仰に立って歩めるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「霊もまた同じように、弱い私たちを助けてください。私たちはどう祈るべきかを知りませんが、霊自らが、言葉に表せない呻きをもって執り成してくださるからです。人の心を見極める方は、霊の思いが何であるかを知っておられます。霊は、神の御心に従って聖なる者のために執り成してくださるからです。神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が共に働いて益となるということ、私たちは知っています。」(ローマの信徒への手紙 8:26 ~ 28)



「これらのことを話したのは、あなたがたが私によって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出さない。私はすでに世に勝っている。」(ヨハネによる福音書 16:33)

神さま、私は弱いために、時として祈りの言葉も出ず、祈ることもできないような苦しみを経験します。しかし、そのような私を知って、主はあのゲッセマネで、私の祈りを引き受けて執り成してくださったのです。その執り成しの言葉を心に刻み、万事が益となることを信じて歩みます。御名によって祈ります。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (105) 第5章8節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたの道を彼女から遠ざけ その家の門に近寄るな。」

◎口語訳 「あなたの道を彼女から遠く離し、その家の門に近づいてはならない。」

◎新改訳 「あなたの道を彼女から遠ざけ、その家の門に近づくな。」

「近づくな」

神に近づくことは難しく、神に背くことはいつでも簡単にできてしまう。たとえて言うならば、降りのエスカレーターを一生懸命上っているようなイメージでしょうか。歩を止めてしまう瞬間、降って行くように世の中の力に引きずり込まれてしまいます。ですから、悪の誘惑の元凶である「よその女」について、父はその知恵を駆使して子どもに言い聞かせるように教えています。

堀野三郎兄(堀野兄妹のお父様)がアルコールで苦しんでいた時代のことを、よく証ししてくださったのですが、仕事の帰り道である横浜の野毛を歩いていると、飲み屋ののれんが「こっちにおいで」と手招きするようになびくので、それにつられてこっちで一杯、あっちで一杯、野毛の通りを抜けるまでにはすっかり酔っ払ってしまうのだそうです。

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
  - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

修道院に泊まることになった旅人が通された部屋には上に小窓がありました。「絶対にあそこからは覗かないでください」と言って修道士が出て行った後、気になって仕方ありません。とうとう、机の上にイスを置き、小窓を覗いてしまいます。するとそこには、なんと先ほどの修道士が。そしてにんまりと笑い、「あなたは長く我慢した方ですよ」と言ったそうです。

そうそう誘惑に勝てるものではありません。そこから遠ざかれればいいし、近寄らなければいいのだ、そう父は言いました。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第25編4節「主よ、私にあなたの道を知らせ 行く道を教えてください。」◆私たちは「導いてください」と祈りながら、本当にその道を知ろうとしているだろうか。「あなたの道を知らせてください」「行く道を教えてください」「導いてください」と口先でなく、へりくだらなければ、祈りにならないのではないか。道とは、どこに続くのかということも含まれている。10年先、20年先も主が見すえていてくださる、それを確認することだ。道とは毎日の歩み方でもある。どんな小道でも、細部にわたって主の導きを求めよう。

●賛美 / 164 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。  
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第26編2節「主よ、私を調べ、試してください。私の思いと心を確かめてください。」◆私たちは訓練を嫌う傾向にある。だが、主イエスが荒野で試みを受けているように、私たちには、神を渴望する訓練が必要なのだ。あまりに満たされ続けていると、当たり前のように恵みを受け、感謝もでてこない。そして、いつの間にか傲慢になるのだ。試される時、試みられる時、練りきよめられる時に発せられる、私たちの叫びこそ、私たちが傲慢にならないために必要なのではないか。恵みを求める力が強められるための機会ともなる。

●賛美 / 165 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第27編1節「ダビデの詩。主はわが光、わが救い。私は誰を恐れよう。主はわが命の砦。私は誰におののくことがあるう。」◆以前にも申し上げたことがあるが、これは横浜教会の牧師だった菅野鋭先生の遺言のように扱われてきた詩編である。獄中でなくなった時、遺品として渡された聖書のこの詩編のページに、家族のはがきがはさみこまれていたため、殉教日を記念する12月第一礼拝に朗読されてきた。敵に囲まれ、暴言をはかれるような時も、天を見上げ、主を待ち望む姿勢を私たちも貫きたい。

●賛美 / 166 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように  
◆宗教法人を取得できるように  
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第28編3節「彼らは友に平和を口にしますが 心には悪意を抱いています。」◆組織的な詐欺事件が世を騒がし続けている。40年前の豊田商事事件で被害者となった一人の高齢者が、「あんなに私の話を聞いてくれた人はなかった。息子のように、私に優しくしてくれた。だからお金は返ってこなくてもいい」と言っていたのが忘れられない。ダビデのもとにも悪い思いを抱いて近寄ってきた者がいたのだろう。いい人も多くいる。だが、私たちは忘れてはならない。人には人を救う力はない。話を聞くことはできても、罪からの救いは提供できない。

●賛美／167 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第29編5節「主の声は杉の木を砕き 主はレバノン杉をも砕く。」◆おそらくダビデは雷鳴が鳴り響く中でこの詩を作った。レバノンの香柏は銘木で有名だが、高さが40mにもなる大木だ。そこに雷が落ちて砕かれるのを目にしたら、だれもが恐れおののくだろう。ダビデはその力が御言葉にあると告白した。私たちは神の言葉をあなどってはならない。「神の言葉は生きていて、力があり、いかなる両刃の剣より鋭く、魂と霊、関節と髄とを切り離すまでに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。」（ヘブライ4:12）。

●賛美／168 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第30編6節「夕べは涙のうちに過ごしても 朝には喜びの歌がある。」◆ダビデは幾度となく命を狙われている。この時も、そのことを思い出して、乗り越えることができた後、歌った詩だろう。「私の魂を陰府から引き上げ 墓穴に下る者の中から生かしてくださいました」とあるわけだから、尋常ではなかっただろう。そのような逆境の時、あなたはどうするか。ダビデのように「涙のうちに過ごしても」いい。だが、忘れてはならない。やがて夜が明け、朝となるように、私たちに勝利と共に喜びがもたらされる。

●賛美／170 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第31編22節「主をたたえよ。包囲された町で 主は私に慈しみの奇しき業を行われた。」◆神からもたらされる救いとは、私たちが祈り、思い描いているような状況の変化や問題の解決ではなく、人間の常識、頭では考えられない、「ぶったまげる」ような御業である。私たちは、そのような御業をなすことができる神への期待があまりにもなさ過ぎる。なぜ無理だと思っているのか。神は約束してくださっているのだから、そのようになると信じなければ、いくら「神さま、信じています」と言っても、口先だけの祈りは信じていないのと同じだ。

●賛美／171 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【ヨハネによるふくいんしよ 21:15～19】

「わたしにしたがいなさい」

(ヨハネ21:19)

ペトロは イエスさまのことをかんがえると、いつも、じぶんが イエスさまのことを「しらない」「かんけいない」といつてしまったことがおもいだされて、こころがしずんでしまいました。

その イエスさまが、よげんされたようにふかつされ、いきておられることをみたときも、いろいろな はなしを きいているときも、しょくじをいっしょにしていたときも、いつも イエスさまにもうしわけない、じぶんはでしとして ふさわしくないと かんがえていたのです。でも、どれだけ こうかいしてもいつてしまったことは とりかえしがつきません。ペトロは こころから よろこぶことは できませんでした。

イエスさまは そんなペトロの きもちをしっていました。だから しょくじが おわった

ときに ペトロに いったのです。

「あなたは このひとたち いじょうに わたしを あいしているか」

ふつうならば ペトロは「あたりまえです。わたしは だれよりも あなたを あいしています」といえたでしょう。でも、ペトロは そういことができず、「あなたが ごぞんじです」としか こたえられませんでした。それなのに イエスさまは 3かいも おなじように、「わたしをあいするか」とペトロに いわれたのです。ペトロは なきたくなりました。また うらぎってしまうかもしれない、とおもい、じしんをもって、「あなたを あいしています」といえなかったからです。

でもイエスさまは ペトロの こころの きずを なおすように、しっぱいは だれでもある。たいせつなことは、わたしにしたがうことなんだよ といわれ、ペトロを はげまされたのです。ペトロは そのご、イエスさまのすくいをしぬまでつたえつづけ、イエスさまをあいし、したがいつづけることができました。

## ●かんがえてみよう

☆イエスさまは ペトロに なんと いわれましたか。(ヨハネ 21:15)

☆イエスさまは ペトロに なんかい しつもんをされましたか。(ヨハネ 21:17)

☆イエスさまは さいごに ペトロに なんと いわれていますか。(ヨハネ 21:19)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

わたしをあいるが

いた				かる	すわ			
						あを		
				すたい				
		るた	わしか					
し		かい	をあ	する				
		を		るわ	い			
をす			しい	あたる				
				しか	す			
か	た		るす		わ			

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① ひじのこたつわし
- ② てりょう
- ③ めんどさ
- ④ しじょく

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





## 牧師の 聖書 ななめ読み

「油田」

原油のほとんどを輸入、しかも中東産に頼っている日本。不安定な政情によって先行きが見通せません。食料もそうですが、輸入先からの供給が絶たれたら、私たちの生活は成り立ちません。もっと農業にも力を入れ、自給自足ができるようにしなければならぬと思っています。しかし、原油についてはどうにもなりません。ここは外交によってなんとか乗り切ってもらいたいものです。ただ、私が小学生の頃に使っていた地図帳には、日本にいくつかの

油田があることが記されていました。最も産油量が多かったのが新潟でした。

現地では、まだ油田の跡地から原油が湧き続けているのだそうです。ところが、その原油は産業廃棄物として産廃業者が処分し、燃料や原料に使われることはまったくないとのこと。かえって火災の危険や大雨が降ると水路に油が流れ出て、詰まらせる原因になり、水質汚染にも関わってくるやっかいな「ゴミ」になっているのが現状だそうです。

戦後、原油の輸入自由化で価格競争に負け、最盛期は自給率15%にまで達したものの、結局、採算があわなくなり、1996年稼働停止。国が潰したようなものです。50年、100年先を見て、これからの政策を練ってほしいものです。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●エルサレムの門

ネヘミヤ記はエルサレムの城壁の再建の様子を記しています。城壁がなければ町を守ることはできません。帰還した民たちが分担して工事をしました。まず門が対象となりました。3章には門の名と担当した人名が、北から始まって反時計回りに紹介されています。まず「羊の門」、犠牲の羊が通る門でした。次に「魚の門」、そして「エシヤナの門」、エシヤナは「古い」、つまり昔からある門だったと思われます。「谷の門」、比較的低い場所にあったからでしょう。「糞の門」、これは灰の門とも呼ばれますが、町から出た汚物などを出すためのもんでした。この門の近くが谷になっていて、ゲヘナと呼ばれていました。ダビデが歌った「死の陰の谷」(詩編23)です。焼却施設のようなものでした。次に「泉の門」は水の源に通じる門になります。そして貯水池に続く「水の門」が出てきます。その次は「馬の門」です。ここから戦いに向かうことが多かったからか、そう呼ばれています。そして「東の門」。東は神の栄光が来る方向だとされ、救い主もここから入場すると言われていました。「ミフカドの門」。ミフカドは「点検する」「さばく」という意味があり、その場所で裁定がなされたのでしょう。

## ななめ聖書 先週のこたえ

こ	る	い	の	け	み	か	で	す
で	す	け	い	こ	か	の	る	み
の	み	か	で	す	る	こ	け	い
い	け	で	こ	み	す	る	か	の
す	か	る	け	の	い	み	こ	で
み	こ	の	る	か	で	い	す	け
か	の	み	す	で	こ	け	い	る
け	い	す	か	る	の	で	み	こ
る	で	こ	み	い	け	す	の	か

- ①てんのくにのかぎ
- ②いわのうえ
- ③よみのもん
- ④きょうかい



## パウロの弁明

「大隊長はパウロのところに来て言った。『あなたはローマ市民なのか。私に言いなさい。』パウロは、『そうです』と言った。大隊長が、『私は、多額の金を出してこの市民権を得たのだ』と言うと、パウロは、『私は生まれながらのローマ市民です』と言った。

そこで、パウロを取り調べようとしていた者たちは、直ちに身を引き、大隊長もパウロがローマ市民であること、そして、彼を縛ってしまったことを知って恐ろしくなった。

翌日、大隊長は、なぜパウロがユダヤ人から訴えられているのか、確かなことを知りたいと思い、彼の鎖を外した。そして、祭司長たちと最高法院全体の召集を命じ、パウロを連れ出して彼の前に立たせた。」(使徒言行録22:27～30)



最高法院の様子

## 【大隊長の判断】

大隊長はパウロが「生まれながらのローマ市民」であることを知り、扱い方を変えざるを得ませんでした。ローマ法によって処罰される恐れがあったからです。少なくともパウロから「私はローマ市民とは思えない仕打ちを受けました」と訴えられたら、自分がどうなるかわかりません。せっかく大隊長まで出世したのに、いっぺんでその地位を失ってしまう可能性があったからです。

大隊長は、パウロにはめていた鎖を外した上で、一晚、アントニウス要塞にある施設に留め置きました。そして、この件を解決するために選んだのが「最高法院での審議」でした。パウロの騒動が政治ではなく、宗教的な相違から来ているのだと判断したからでした。そして、そこで出た結果によって、今後のやり方を決めようと思ったわけです。

## 【最高法院】

最高法院について簡単に触れておきます。

主イエスがゲッセマネで逮捕された後、「死刑」を言い渡したのがこの最高法院でして、サンヘドリンとも呼ばれるユダヤ人の最高議会であり、かつ最高裁判所でもありました。いつから設置されたか定かではありませんが、バビロン捕囚ののち、国家再建を担った指導者たちが国家運営のために組織したのではないかと考えられ、紀元前2世紀には祭司の家系で、ユダヤ人たちをまとめていたハスモン家が統治機関として整備したと思われる。つまり、主イエスの時代には設置されて100年以上経過していますので、自治機関として機能を果たしていたのです。

ただし、その間、ローマに支配されてしまった

こともあって、政治的な動きは制限されましたが、宗教的な権威は維持され、社会の変化に伴う律法の解釈、異端の裁定、また神殿の管理やローマとの交渉事も担っていました。

組織は大祭司が議長を務め、議員の定員は70人なので、71人で構成されていました。福音書などでもたびたびその様子が紹介されていますが、祭司階級であるサドカイ派、貴族層とも言える長老、そして主にファリサイ派である律法学者から選ばれていました。ちなみに、主イエスに会いに来たニコデモはファリサイ派の人で「指導者」であったと書かれているところから(ヨハネ3:1)、サンヘドリンの一員だったと考えられます。議員の集まりで「我々の律法によれば、まず本人からの事情を聞き、何をしたかを確かめたうえでなければ、判決を下してはならないことになっているではないか」(ヨハネ7:51)と主イエスを弁護していることからそれがわかります。ニコデモは主イエスの遺体を葬った際にもいるので、主の弟子となっていたと考えられます。議員として知られていた人物が議会で死刑を受けたイエスを葬りに来ているのですから、これは非常に勇気のある行動です。さらに、その遺体を引き取らせてくれと願い出たアリマタヤのヨセフも「高名な議員」(マルコ15:43)でした。祭司や律法学者ではなく、エルサレムの町の有力者、つまり長老として推されて議員になった人です。名前は挙げられていませんが「議員の中にもイエスを信じる者は多かった」(マルコ12:42)とあることから、このふたりだけではなく、主イエスの弟子、また信奉者はいたわけです。ただ、パウロを迎えたこの時の議会に「味方」がいたかどうかはわかりません。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

